

Cameraリモート信号を利用してユピテル製レーダー探知機の取付

ユピテル製レーダー探知機、Z700Nsを連動させる機能を搭載しています。
Z700Nsの疑似リバース信号を当製品のCameraリモート入力に接続する事で、レーダー探知機が、映像出力をする時に自動で映像を表示するようになります。
レーダーの電源はCamera 1用電源出力を利用すると便利です。
(VEM設定でIG-ON連動出力に設定します。)
オプション電源出力のスピード信号も接続すると、トンネル内などでの自車位置精度が向上します。
(レーダー側の設定必要)

- 表示する画面サイズは最後に表示していたサイズを引き継ぎます。
- レーダー側の待ち受け画面設定で、「表示OFF」を選択しますと、レーダーが反応した時のみ、最後に表示していたサイズで強制割り込み致します。
- 待ち受け画面設定を何れかの画像で設定している場合は、常に表示されています。

注意

- ※ レーダー画像が表示されている状態で、自らの操作でレーダー映像を消した場合は、リモート信号が再入力されるまで、自動割り込みは致しません。
- ※ 待ち受けOFF設定で、レーダーが無反応中に任意にレーダー映像を呼び出す操作を行った場合、レーダーが映像出力をしていませんので、ブルースクリーンが表示されます。
- ※ キーONIにした10秒後から当製品のリモート入力が動作開始します。

機能設定

- iDriveコントローラーのMENUボタンを長押しするとVEMメニューが表示されます。
各アイコンの説明は画面上部に表示されます。
- 使用しない入力は、各ソースの入力設定の部分で「使用しない」にして下さい。入力が無いのに表示するモードに入りますと当製品はブルースクリーンを表示します。
- 各入力の呼び出しボタンは変更できますが、他の入力と重複出来ません。後から登録した方で上書きされます。
※ 各入力を「使用しない」を選択しますと、呼び出しボタンは消去されます。
後から「使用する」に変更した場合は呼び出しボタンの登録が必要です。
地デジチューナーのコントロール信号出力は各メーカー個別送信方法を取っていますので、装着した地デジのメーカーに合わせて設定して下さい。
使用するAV入力を呼び出すプログラムボタンにAUXを登録しますと、純正のAVソースを切り替えながら外部映像を呼び出す事が出来ますので便利です。
- リバース時の機能設定はCamera 1設定のリバースアクションの中にあります。
- 純正カメラ付き車輻の場合、リバースアクションは「純正画面へ戻る」となります。純正のバックアシスト映像装備のON/OFFに連動します。(MINI及びアクティブツアラーはリバース連動)
- リバースアクションで「純正画面へ戻る」を設定した後、必ずPDC装着状態の設定を行ってください。
※この設定によりCAN信号の検査する箇所が変わりますので、設定を間違えると動作しない車輻があります。ご注意ください。
- 純正PDCがリヤのみ装着の車輻はPDCスイッチが無い為、バックアシスト装備の映像がOFFとなる時点でリバースアクションが終了します。
※純正バックカメラ動作やPDC動作での判断が出来ない車輻があります。
MINI及びアクティブツアラーではリバースギヤ連動です。
- 純正PDCが前後に装着されている車輻はPDCがOFFになる時点でリバースアクションが終了します。
- リバースアクションを終了した時点で、外部映像及びVEMメニューの表示が可能です。
Camera 1入力をバックカメラで使用する場合は、「FULL画面表示」「PbyP画面表示」のいずれかを選択します。その後、ガイドライン設定を行います。
- VEMメニューから退出するには、MENU、MEDIA、RADIO、TEL、MAPのいずれかを押します。
- 車輻OBDコネクタ付近に付属のコーションステッカーを貼り付けてください。
- その他の詳細な設定などは、詳細説明書をご覧ください。
※ディーラー様依頼などで取付をして、純正セーフティ機能の活性化が許されない場合は、本書はユーザーに渡さず回収して下さい。
純正セーフティ活性化の方法は、本書にのみ記載してあります。

Visual Expand Module

AT-VEM35

MADE IN JAPAN

SET UP MANUAL

Expand



株式会社エイタック 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田5581 Phone.045-595-1730 Facsimile.045-595-1733

DIPスイッチの設定



DIPスイッチは下記の指示に従い設定を行って下さい。

1・2番の設定

1 OFF	2 OFF	車種設定	F20、F22、F30、F31、F34、F80、F32、F33、F36、F82、F10、F11、F07、F12、F13、F06、F01、F02、F04、F25、F15、I01、I12
1 ON	2 OFF	車種設定	BMW、CIC設定 (F20、F30のナビ自車位置マークが赤の車輻)
1 OFF	2 ON	車種設定	F56、F55
1 ON	2 ON	車種設定	F45

3・4番の設定

3 ON	未使用	
3 OFF	未使用	
4 ON	純正セーフティ活性化モード	VEMメニュー内で純正セーフティのON/OFFが可能となります。
4 OFF	純正セーフティ非活性化モード	VEMメニュー内のアイコンはトーンダウン表示で選択不可となります。

IRコントロール出来る地デジチューナー

データシステム、パイオニア/ユニデン、パナソニック、ヒューマックス、d'sGearです。

※d'sGearは受光部端子が4極の為、加工が必要です。3番目と4番目を短絡します。(受光部LED使用不可)

各配線の説明1

※HDMIケーブルは別途ご用意ください。

6P電源/CAN配線

赤	システム電源です。純正オーディオ部の40Pコネクタの⑩番に割り込ませます。
黒	システムGNDです。純正オーディオ部の40Pコネクタの⑩番に割り込ませます。
黄	CAN-HI、車輻側です。純正オーディオ部の40Pコネクタの①番の線を途中で切断して、車輻側へ接続します。
白	CAN-LO、車輻側です。純正オーディオ部の40Pコネクタの⑨番の線を途中で切断して、車輻側へ接続します。
灰	CAN-HI、オーディオ側です。純正オーディオ部の40Pコネクタの①番の線を途中で切断して、オーディオ側へ接続します。
青	CAN-LO、オーディオ側です。純正オーディオ部の40Pコネクタの⑨番の線を途中で切断して、オーディオ側へ接続します。
バイパスコネクタ	何らかの不具合などで、配線を純正状態に戻す必要がある場合に6Pコネクタ部分に接続します。

各配線の説明2

※HDMIケーブルは別途ご用意ください。

6P電源出力配線

赤	ACC運動電源です。VEMメニュー内の設定でON/OFF可能です。リレー駆動の信号線として使用してください。
橙	イルミ運動電源です。リレー駆動の信号線として使用してください。
紫	リバース運動電源です。リレー駆動の信号線として使用してください。(バックカメラ電源としてはこちらでは無く、カメラ配線側の電源を使用してください。)
緑	Pブレーキ運動線です。PブレーキONでGNDを出力します。
桃	スピードパルス信号です。8パルス方式で出力します。
黄	CAN運動電源です。車輛のCAN信号が起動中に出力します。リレー駆動の信号線として使用してください。

AV入力ケーブル

AV1 3色	社外地デジチューナーコントロール信号運動機能を搭載したコンポジット信号入力です。
AV2 3色	汎用コンポジット入力です。

AV出力ケーブル

AV OUT	リヤモニター用映像出力とAUX用音声出力です。
VIDEO OUT	リヤモニター用映像出力です。
2Pコネクタ	オプションパーツのAT-APSELをコントロールする出力です。

3P信号配線

2Pコネクタ	拡張用シリアル信号線です。オプションパーツのAT-SHV2を接続します。
信号線(白)	Camera入力用リモート信号線です。+入力があると、設定したCamera入力、画面サイズで強制割り込みします。

Camera 1 用配線

RCAケーブル	Camera 1 用の映像入力です。
電源線(赤)	設定でCamera運動、IG-ON運動、CAN運動にできる電源線です。Camera 1 に接続する機器の電源などに使用します。(8V出力です。)
GND	上記と対になるGND線です。

※バックカメラを装着する場合は必ずこの電源線を使用してください。別途リバース電源で駆動しますと、ガイドライン調整や画質調整の時にカメラがONにならずブルースクリーンとなってしまいます。

結線方法

- 純正オーディオの40PコネクタのCAN信号線、⑨番⑩番を途中で切断して、「電源/CANハーネスの接続」に記載の図のようにCAN配線を割り込ませませす。(IN/OUT、Hi/Loの間違いの無いようにしてください。)
- 純正オーディオの40Pコネクタの⑮番にシステム電源、⑫番にシステムGNDを割り込ませませす。
- 純正モニターのモニターケーブルを抜き、当製品のAPIX INに接続します。
- 同梱モニターケーブルを当製品のAPIX OUT～純正モニター間で接続します。
- 社外地デジ装着の際は、リモコン受光部を当製品のIR INに接続して、同梱の3.5φケーブルをIR OUT～地デジで接続します。
- 当製品の外部入力に外部映像機器を接続します。

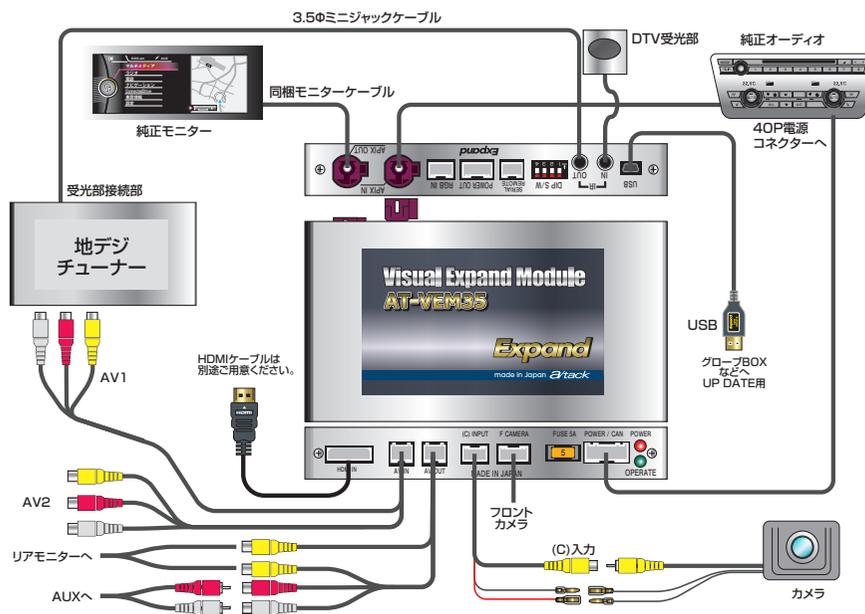
AV1	社外地デジチューナーコントロール信号運動コンポジット信号入力
AV2	汎用コンポジット信号入力
HDMI	HDMI専用入力(480P出力対応製品のみ)
Camera 1	バックカメラ入力(リバース運動解除して汎用カメラ入力として使用も可能)
Camera 2	アルパイン製Fカメラ入力(別売交換ケーブルで汎用カメラ入力として使用も可能)

※HDMIケーブルは別途ご用意ください。

- リヤモニターを装着する場合は、AV OUT(黄)or VIDEO OUT(黄)から映像出力されますのでそちらに接続します。(純正映像出力対応)
- AV OUTの音声出力を車輛のAUXへ接続します。
※AV OUTの2Pコネクタは、別売のAT-APSELのコントロール信号線です。
AV1、AV2、HDMIの何れかを選択した時に出力され、リヤモニター出力が純正出力になる時に停止します。
- UPDATE用のUSBケーブルを本体に接続して、グローブBOXなどに引きまわします。

基本接続図

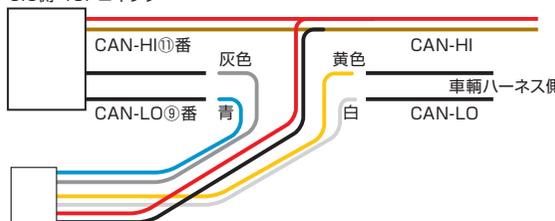
- コントロール機能搭載の地デジチューナーの受光部は当製品を経由して接続します。



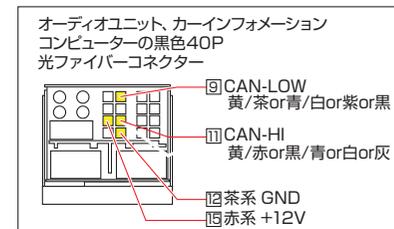
電源/CANハーネスの接続

- 純正オーディオへ接続されていたハーネスを下記イラストの様に加工します。
- 40PコネクタのCAN信号線(ツイストペア線)⑨番、⑩番をコネクタから10cmぐらいの所で切断します。
- 切断した純正配線に、電源/CANハーネスのCAN信号線をIN、OUT、HI、LOを間違えない様に接続します。
- 40Pコネクタの⑮番に電源線、⑫番にGNDを割り込ませませす。
※配線の太さが異なりますので、分岐タップなどは使用せず、ハンダ付けなど確実な接続を行ってください。

CIC側 40Pコネクタ



電源CANハーネスカプラー



CAN信号配線色は車種により異なります。40Pコネクタのピン番号で確認して下さい。

※ 車輛の不具合などで、長期的に当製品を外した状態で点検する必要がある場合、当製品本体から電源コネクタを抜き、配線途中に装備しているバイパスコネクタに差し換えて下さい。(CAN信号はコネクタ上でバイパスされ、純正状態となります。)